いじめ防止等対策検討会議の報告書

学校名	岐阜県立下呂特別支援学校	学校長	駒田　武彦
所在地	下呂市小川４３２－１	電　話	０５７６－２４－１０１６

１　会議の名称　下呂特別支援学校　いじめ防止等対策検討会議（第１回）

２　会議の構成

＜学校外部専門家＞	弁護士	飯田　洋
	公認心理士	荒谷　鈴子
	地域代表	福村　知子
	保護者代表	二村　和仁
＜学校職員＞	校長	駒田　武彦
	教頭	熊﨑　礼子
	小中部主事	上村　篤
	高等部主事	原　るみ子
	生活支援部長	水間　匡亮
	教務主任	新屋　郁子
	養護教諭	橋本　弥生

３　会議の目的

学校のいじめ防止基本方針や対策組織、学校生活アンケートの結果について外部専門家から幅広く意見を聞き、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

４　会議の開催　　令和４年７月８日（金）
下呂特別支援学校　本館３階　多目的室
委員４名と学校職員７名が参加

５　会議の概要

＜議　　事＞　１０：００～１１：００

（１）　校長挨拶

外部専門家の先生方、本日は出席していただきありがとうございます。現在、重大ないじめ問題は起きていないが、子どもたちお互いのコミュニケーションの中で、意見の相違、ＳＮＳのトラブルなどの課題があるかもしれない。課題は小さいうちに対応し、大きくならないようにしていきたい。また、学校に来ることに課題をもってい

る子どももいる。ご助言をいただきたい。

（２）　岐阜県立下呂特別支援学校いじめ防止等対策検討会議設置要綱について
各委員　内容について説明し、了承された

（３）　岐阜県立下呂特別支援学校いじめ防止等対策第三者委員会設置運営要綱について
各委員　内容について説明し、了承された

（４）　下呂特別支援学校いじめ防止基本方針について
各委員　内容について説明し、了承された

（５）　令和４年度　学校生活アンケート兼いじめ調査について
学　校　５月１２日に高等部の生徒に学校生活アンケートと教育相談を実施。
また、毎月実施している心のアンケートにおいても、いじめの報告なし。
各委員　実施方法、内容について説明し、理解をいただいた

（６）いじめ重大事態の検討について
各委員　内容について説明し、理解をいただいた

（７）　外部専門家より助言
意見１　アンケートについて昨年度の状況と比較できるとよい。
意見２　ＳＮＳは潜在的なものもある。皆で協力し、未然防止に努めたい。
意見３　長期欠席している子どもの周りの子どもがどう思っているか目を向けたい。長期欠席している子どもが登校した際の声かけなどにも留意する。
意見４　いじめがあるとするなら、親にしか言えない子もいる。信頼関係を築くことが重要。「いじめられている子は悪くない」「味方だよ」と伝えていきたい。
意見５　いじめられている子にとって相談することは大事。
アンケートの中で、相談相手を先生や友達に限定せずに回答できるようにしてほしい。
意見６　未然に防ぐことが大事。アンケートに本当のことを書くとは限らない。保護者は学校内でのことにまで目が届かない。学校で未然に防ぐ対策をしてほしい。
意見７　加害者側、被害者側の双方に対応することでいじめは少なくなると思う。

学　校　アンケート以外に、高等部では教育相談日として面談を実施。教員が生徒の悩みなどについて聞き取り、何かあれば対処している。
毎年９月に保護者の学校評価アンケートを実施している。

「学校がいじめ対策をしていることを知っているか」という問いに対して、「分からない」と回答される方がみえる。未然防止に力を入れていることを伝えていきたい。それに対する助言をお願いしたい。

意見１　いじめのサインにもなる「食欲がない」「笑わなくなった」などの項目をあげ、「ありますか」など保護者にもアンケートをとるとよい。また、チェック項目を保護者にもチャックしてもらうとよい。